

題名	分類番	所要時間	内容
愛華ちゃんの地球	A-44	33分 カラー	学校の宿題を小学校6年生の愛華ちゃんが環境マンガにまとめ上げました。それが大反響を呼び、国連の「グローバル500」賞まで受けたのですが…。本作品は遺作となった「地球の秘密」を彼女が創り出すまでの短い生涯を描いた感動のアニメーションです。
愛華ちゃんの地球の秘密 総集編	A-79	37分 カラー	1991年12月27日、島根県の小学6年（12歳）の少女、坪田愛華さんが、突然の脳内出血で亡くなりました。それは、彼女が学校の環境問題の課題を、環境マンガ「地球の秘密」として描き上げた直後のことでした。「地球の秘密」は環境保護を訴えるものとして、内容も充実したマンガで、「環境白書」の表紙にもなりました。
蒼い記憶 (大阪府内のみ貸し出し)	A-78	90分 カラー	戦争中、「八紘一宇」「五族共和」「王道楽土」のスローガンのもとに、満蒙の開拓のために送り込まれた少年たち。彼らは、開拓と警備のためソ連国境に送られ、極寒の地で苛酷な生活を送りました。敗戦の混乱と逃亡の日々、数々の悲劇を産んだ満蒙開拓青少年義勇軍を描く初めての映画です。
青い目の人形物語 －平和の使者－	A-84	30分 カラー	太平洋戦争が始まると、米英を中心とする連合軍を敵とする日本では、「青い目の人形」は敵愾心をあおる格好の標的にされ、みせしめに焼かれたり踏みつぶされたりと過酷な運命にありました。しかし戦時下の厳しい状況にありながら、こころある人々によって人形が隠されている事実があきらかになりました。 愚かな戦争を二度と繰り返さないために、人形に込められた平和への願いを子どもたちに伝えてくれます。
青い目の人形	D-99	48分 カラー	1927年（昭和2）、日米友好のかけ橋にとアメリカから送られてきた12,000もの青い目の人形が、日米開戦と共に次々と処分されて行きました。しかし、その中に愛の手に守られて生き残った人形があったのです。そこに咲いた戦争から平和へのドラマを感動的に描いています。
青葉学園物語 (大阪府内のみ貸し出し)	A-81	103分 カラー	敗戦後の貧しい境遇（戦災児収容施設）の中で、子どもたちが逆境にもめげず、人間として一番大切なやさしさや、思いやり、人と人とのかかわりのルールを体得しながら成長していく姿を描いたこの作品には、「現代」の子どもたちには得られにくい、異年齢の集団環境がいかに大きな力をもっているか、あらためて思い知らされます。
赤錆び色の空	D-102	125分 カラー	大阪のある町の、父親を戦場に送り出した本当にか弱い家族が、戦争のために崩壊してゆくさまを克明に描いた物語です。声高に叫ぶのではなく、静かに、戦時下の市民生活を次の世代に伝えたいと考えるものです。
あおよ、かえってこい －東京大空襲－	A-51	20分 カラー	空飛ぶペガサスに想いをはせる少年と、子馬アオとの友情。たった2時間22分の空襲で東京のほぼ半分が焼け、10万人の人たちが焼き殺された東京大空襲。火災の海を空高く飛翔するアオ。少年との愛のきずなを軸に感動的に描く東京大空襲のエピソードです。
悪魔の火球	D-1	3分30秒 カラー	「10フィート運動」を呼びかけた作品です。長崎原爆炸裂の瞬間をとらえた実写フィルムです。

あしたが消える —どうして原発?— (大阪府内のみ貸し出し)	D-113	55分 カラー	25歳の若い主婦Kさんの父親は、4年前52歳の若さで骨ガンのために死んだ。その父は、原発で技術者として働いていたのです。だが、Kさんは原発と父の死を結び付けて考えられませんでした。「安全な」原発という関係者の言葉を信じていたから……。
明日への伝言	D-21	7分 カラー	アメリカ国立公文書館に保存されていた長崎への原爆投下直後の記録フィルムです。「10フィート運動」を呼びかけた作品。平和教材としても好評です。
アジアの叫び声に答えて	D-137	40分 カラー	アジアの国々の人々が抱える問題や苦悩を共に負いながら、それぞれの国の人々の自立と、自主的な医療向上をめざして活躍する“日本キリスト教海外医療協力会”のワーカーたちの働きを通して、国際協力の一つの姿を紹介し、真の国際協力のあり方を考えます。
暑くなる地球 —地球温暖化と科学技術—	D-25	25分 カラー	今、地球は急速に暖かくなり、世界各地で気象の異変や生活環境の変化が現われています。なぜ地球温暖化は起きているのでしょうか?そのメカニズムを解明するとともに、ピンチに立つ地球環境のなかで、それを克服する明日の科学技術を紹介します。
あの日—この校舎で— —五十年前に被爆した ナガサキの記憶—	D-134	30分 カラー	被爆直後の長崎で救護所に当てられていた小学校で、直接被爆者たちを看護した医療従事者たちが、目撃した人体被爆の生々しい状況を具体的に証言します。それらの証言は、原爆が決して過去の問題でなく、この希有な体験を次の世代へと語りつぐことが、今ももっとも重要だと訴えかけてきます。
あぶない飲み水 —発ガン物質 トリハロメタン—	D-30	21分 カラー	生きるために必要な水。その水道の水の中に発ガン物質が入っているとしたら…有リン無リンを問わず、合成洗剤の使用が下水処理場の機能を低下させ、飲料水の中の有害物質の生成を助けている事実から、私たちはどうすべきかを考えます。
雨はやさしく	A-24	11分 カラー	時計が鳴り、朝、家が目覚める。大きなマジック・ハンドが卵を割り、ロボットは親子4人の朝食をととのえる。けれども食卓につく者はいない。核戦争で世界は滅び、この家の人々も死に、生き残ったのはオートメーション装置だけ…。ブラッドベリの傑作「火星年代記」の一編をアニメ化したものです。
「ある証言 ・シベリヤ捕虜収容所」	D-55	30分 カラー	1945年(昭和20)8月15日、ポツダム宣言受諾による日本軍の無条件降伏を境に、軍事捕虜として、ソビエト連邦、特に、シベリヤの各地に抑留され、極寒と栄養失調によって死線を彷徨し続け、九死に一生を得て祖国に引揚げてきた、シベリヤ抑留体験者の証言です。
「ある証言・満蒙開拓 団」	D-56	30分 カラー	満蒙開拓移民として、筆舌に尽くせぬ苦難を舐め、九死に一生を得て、故国に帰り着いた人々は、自らが体験した「思い出したくない過去」について、やっと、重い口を開いて語りはじめました。それは、「二度と繰り返してはならない」との私達へのメッセージなのではないでしょうか。 私達すべての日本人にとって、この満蒙開拓の悲劇は、「絶対に忘れてはならない」民族の歴史なのです。

ある同姓同名者からの手紙	D-119	48分 カラー	ある日、何の前ぶれもなしに、同姓同名者から手紙が届いたら、あなたはどうしますか。1989年（平成元）の9月、東京に住む金高謙二に手紙が届いた。差出人は長崎県の金高謙二。内容は1945年（昭和20）8月9日長崎に投下された原爆のこと、それも差出人の金高謙二自身が体験した「原爆の追想記」でした。読んでいくうちに、言い表せない衝撃を覚え、彼はせかされるように長崎を訪れます。
アンネのための日記	D-2	22分 モノクロ	ナチスのユダヤ人迫害の犠牲となり、強制収容所で死んだ少女アンネ・フランク。彼女ののこした「アンネの日記」は世界的なベストセラーとして知られ、映画化もされたが、この映画は事実の映像で彼女の悲劇と彼女を死に追いやった犯罪者を追求しています。
生きていてよかった	D-3	53分 モノクロ	第1回原水爆禁止世界大会で、被爆者救援の宣言を聞き、ある被爆女性が語った「生きていてよかった」を題名にとり、第1部「死ぬことは苦しい」、第2部「生きることも苦しい」、第3部「でも生きていてよかった」の3部構成からなります。被爆者たちが本当に「生きていてよかった」といえる日まで、核廃絶のたたかいをと、静かに訴えかけます。
生きるための証言 —いま、ヒロシマから—	D-4	58分 カラー	全国で約37万人といわれる被爆者たち。彼らのうち、その体験を語った人は500人に満たない。しかし、彼らはそのつらい思いを克服、ついにその繰り返すべきでない悲惨な被爆体験と、差別と貧困に耐えてきた戦争体験を語った。これはその貴重なドキュメントです。
戦場ぬ童	D-22	26分 カラー	沖縄戦40周年を記念し、沖縄戦の実態を戦争を知らない世代に伝え、今日の基地の島沖縄を見つめるドキュメントです。米軍が撮影した沖縄戦の実写フィルムと、今日に残る戦跡と基地化の実態を記録したフィルムで構成し、反戦平和を訴えます。
石の声 —沖縄戦マラリア 地獄の記憶—	A-49	24分 カラー	沖縄戦では、弾雨によって20万人余の尊い命が奪われました。 しかし、沖縄戦の犠牲者はそれだけではなかった。当時八重山諸島では、軍命による強制退去が強行され、その結果マラリア地獄がひきおこされたのです。 日本最南端の波照間島は家畜の多い島だった。1945年（昭和20）4月、日本軍はその食糧調達のため、波照間の島民1人残らずマラリアの蔓延する西表島へ強制移住させました。そのため、殆どの人々が感染し、島の人口の3分の1が犠牲になったのです。 ふるさとを奪われ殺されて行った多くの人々の嘆きや怒りを、子どもたちを中心に描いたレクイエムです。
生命ある限り 被爆者が語る証言の記録	D-95	49分 カラー	1945年（昭和20）8月、広島と長崎の夏空に炸裂した原爆は、20数万の人々の尊い生命を奪った。あの日から43年以上を経過してもなお、原爆の後遺症は癒されることなく心と体をむしばんでいる。あの日愚かな「あやまち」を、悲惨さを、そして屈辱を語り継いでゆきたい。あしたの空と、新しい生命が健やかであるよう、そして再び被爆者を生みださないための記録です。
いらなくなった鍵 (大阪府内のみ貸し出し)	D-117	42分 カラー	ミハイル少年の住む村にもドイツ軍が侵入してきたので、長年住みなれた家をしめ、山奥の小屋に疎開することになり、お母さんがミハイルに家のカギをあずけました。平和で、のどかだった村の、リス、ウサギ、鳥たち小動物も銃声におびえてしまいます。やがて戦争が終わり、やっと家に帰ったら、家はドイツ軍に焼かれていて、お母さんから預かったカギは使えなくなっていました。

イルム…なまえ －朴秋子さんの本名宣言－	D-71	45分 カラー	朴秋子さんは、1947年（昭和22）生まれ大阪育ちの在日朝鮮人二世です。少女時代から民族差別の壁の前で「通名」でおおしてきましたが、大学4年の時に、「本名宣言」をしました。 1978年（昭和53）5月、彼女は大阪府内のある社会福祉施設の寮母採用試験をうけた。しかし「本名」ゆえに拒否されず。なぜ「本名」では採用されないのか。在日韓国・朝鮮人が「本名」を名のって生き働くことの意味を、朴秋子さんの日常生活の記録を通して明らかにします。
うしろの正面だあれ （大阪府内のみ貸し出し）	A-58	90分 カラー	東京下町の職人一家の質素ながらも明るい暮らしぶり、1945年（昭和20）3月の東京大空襲で家族6人を失うという悲話を綴ったものです。 映画は東京大空襲でクライマックスを迎えます。空襲シーンを極力さげ、下町の人々の日常生活を中心に、現在では見落とされがちな、家族の絆、隣人への思いやりを描いた上で、それらを一瞬のうちに破壊されてしまった主人公の少女が、両親から受けた愛情を支えとして、悲しみを振り切り、絶望の中から自力で立ち上がっていくシーンでエンディングを迎えます。
美しい地球をよごさないで	A-42	25分 カラー	70数カ国の子どもたちの自然保護にたいする叫びの絵を必要に応じて動かし（アニメ）、展開はドラマ（実写）にした作品です。
海 －いまトマホークが…－	D-5	13分 カラー	核巡航ミサイル「トマホーク」が、日本に出入りする米軍の艦船に積まれています。日本の海が危ない。核巡航ミサイルとはなにか、「トマホーク」とはなにか。むずかしい解説めきで、目で見てすぐに理解できる映像です。
海からぶたがやってきた （大阪府内のみ貸し出し）	A-90	45分 カラー	ぶたは、沖縄の人々にとって昔からとても大切な動物です。しかし、戦争でそのほとんどが死んでしまいました。アメリカのぶたを送ろうとハワイに住む沖縄人たちが、たちあがりました。ふるさと沖縄を救うために、7人の男たちがアメリカを旅立った。550頭のぶたを船にのせて…。
海鳴り花寄せ 昭和日本・夏	D-97	63分 カラー	1945年（昭和20）夏、日本の敗戦で太平洋戦争は終わったが、侵略した者たちは侵略された人たちの声を聞くことはなかった。戦争を語りつづけるかれらのことばに耳を傾けようとはしなかった。侵略した者たちは、自国の繁栄にのみ忙しかった。 人を侵した事実の重みと同じように、その事実をきれいさっぱり忘れてしまっていることもまた重要な問題ではないでしょうか。
映像で見る昭和の歴史 シリーズ （1）昭和時代の幕あけ	D-106	20分 モノクロ	人々の幸福と世界平和を願い、昭和の時代が幕をあけた。世界の近代化は進んだが、経済恐慌や社会不安で、軍部が台頭。「満州」事変が勃発し、日華事変、太平洋戦争へと突入していきます。
映像で見る昭和の歴史 シリーズ （2）太平洋戦争の記録	D-107	20分 モノクロ	日本軍は真珠湾を奇襲、マレー半島に上陸。香港・グアム島・マニラを占領。国内は続く戦勝にわいた。しかし、国力に勝る米・英の反撃の前に、日本は破滅の一途をたどり始めます。
映像で見る昭和の歴史 シリーズ （3）焦土からの復興	D-108	20分 モノクロ	1945年（昭和20）8月15日終戦。ヤミ市、浮浪児、飢え、戦後の混乱の中にあるわが国に対し、連合軍総司令部は民主化の政策をつぎつぎと推し進めた。新生日本は動転の日々でした。

映像で見る昭和の歴史 シリーズ (4) 高度成長への道	D-109	20分 モノクロ	サンフランシスコ講和会議（昭和26年）により日本は独立。国力が回復し、輸出の拡大、国内需要の増大で経済は急成長した。昭和39年の東京オリンピックは繁栄の象徴でした。
映像で見る昭和の歴史 シリーズ (5) 繁栄のなかで	D-110	20分 カラー	戦後20年、日本はかつてない繁栄に達した。“昭和元禄”が流行語に…。しかし、経済の高度成長は、公害、自然破壊、交通惨禍等の問題を抱え、石油危機により幕を閉じます。
エヴァとマイケル ニュルンベルグ裁判	A-45	62分 カラー	本邦初公開！世界的にもっとも貴重な当時のフィルムを収集し、解りやすくアニメ・キャラクター「エヴァ」と「マイケル」をヨーロッパの旅のガイド役として使用し、親と子がともに観ながら、歴史の真実を…、平和の大切さを…、と継承していく作品です。
江戸時代の朝鮮通信使	D-70	50分 カラー	江戸時代のけんらん豪華な朝鮮通信使の歴史的意義と、その華やかな文化交流の事実は、一般には知られていません。最近になり古代日朝関係史と同じようにA近世・江戸時代の朝鮮通信使を根幹とした日朝関係史にもあらためて新しい光があてられるようになりました。明治以降、朝鮮通信使の史実は「国策」にもとづいてかき消されました。このフィルムはそのことの意味を観客一人ひとりに静かに問いかけ、両国民の友好を呼びかけます。
大阪大空襲 一焼きつくされた大阪の街一	D-51	35分 カラー	終戦直前、大阪が廃墟と化した米軍撮影のフィルムがあります。長い平和と繁栄の中で、私たちははともすれば平和の有り難さを忘れがちです。現在の平和が過去の戦争の大きな犠牲の上に築かれたことを思い起こし、「大阪大空襲」を永遠の平和の原点として訴えます。
「大阪に残る戦争の傷あと」Ⅰ	D-52	29分 カラー	大阪の空襲は1944年（昭和19）12月から45年（昭和20）の終戦の前日までの半年です。大阪は一木一草残さぬ焦土と化した。その空襲の中を幸運にも生きのびた人々の生々しい体験を通して戦争の悲惨と平和を語りかけます。
「大阪に残る戦争の傷あと」Ⅱ	D-53	25分 カラー	大阪の空襲は1944年（昭和19）12月から45年（昭和20）の終戦の前日までの半年です。50回を超える空襲で焦土と化した。その空襲の中を幸運にも生きのびた人々の生々しい体験を通して戦争の悲惨と平和を語りかけます。
「大阪に残る戦争の傷あと」（全編） （大阪府内のみ貸し出し）	D-54	50分 カラー	大阪の空襲は1944年（昭和19）12月から45年（昭和20）の終戦の前日までの半年です。大阪は一木一草残さぬ焦土と化した。その空襲の中を幸運にも生きのびた人々の生々しい体験を通して戦争の悲惨と平和を語りかけます。
おかあさんの木	A-15	22分 カラー	戦場に7人の息子を送り出した母親は彼らが手柄を立て無事に帰って来るのを祈りますが…教科書に全文掲載されている大川悦生原作の同名著書のアニメ化です。戦争はもう絶対にいや。平和を願い、子を思う母の愛を感動的に描き、戦争の悲劇、平和の尊さを訴えます。
お母さんの声が聞こえる 一平和な明日へ一	D-20	31分 カラー	東京大空襲の悲惨な体験をもとに平和を訴える作品です。戦争を知らない人々が70%を越えてきた今、恒久の平和のために、今こそ、子や孫たちに戦争の悲しさ、恐ろしさを語り継いで行かなくてはならない。そういう願いをこめて制作されました。

おかあちゃんごめんね	A-28	26分 カラー	<p>星になったおかあちゃん。 絹ちゃんは、いまでも“炎の夜”を忘れません。 1945年（昭和20）7月10日は、大阪の堺市民にとって二度と忘れることのできない日となりました。戦争中の日本は、この年のアメリカ軍の空襲によって、何百万人もの人たちが、殺され傷つき焼けだされました。堺市でもこの日、1,860人が殺され、傷ついた人は970人を数えました。 原作は、大阪の「戦争体験を記録する会」がまとめた記録のひとつで、子供たちに伝える平和人形アニメーションです。</p>
沖縄戦 未来への証言 (大阪府内のみ貸し出し)	D-78	55分 カラー	<p>沖縄戦の実写と現在の沖縄の姿をモンタージュして、沖縄戦の推移を追い、その実相を明らかにしていきます。 この小さな島々になぜこんなにも多くの慰霊碑があるのだろうか。 戦後40年たった今、なぜこんなに多くの遺骨が収集されるのか—この素朴な問いかけは、なぜこの島々であんなにも激烈な地上戦が行われ、悲惨な住民犠牲が生じたのか、さらにどうして現在の基地におおわれた沖縄になったのか、次々に新たな問いかけを生んでいきます。</p>
おこりじぞう	A-19	27分 カラー	<p>1945年（昭和20）8月6日、アメリカの原子爆弾に殺された少女とじぞうの物語…。 日本の国が、戦争をしていた1945年（昭和20）。広島にアメリカ軍の飛行機から原子爆弾が落とされました。約14万人の人々が死に、町はあとかたもなく焼け野原となりました。 それから数年後の広島に、“おこりじぞう”と呼ばれる、おじぞうさんがたっていました。その首は、元からのおじぞうさんの首ではないようです。それになぜ、おこった顔をしているのでしょうか…。</p>
教えられなかった戦争 フィリピン編 (大阪府内のみ貸し出し)	D-121	110分 カラー	<p>太平洋戦争中、フィリピンで50万人の日本兵が死亡し、フィリピン人の死者は110万人を超えたといわれている。 この映画は、日本がフィリピンに進攻していった実録フィルムと当時を知る体験者の証言をもとに構成されています。</p>
おばけ煙突のうた	A-73	44分 カラー	<p>見る角度によって、4本、3本、2本、1本と違って見えることから、「おばけ煙突」の愛称で東京下町の人々に親しまれていた、東京電力・千住火力発電所の4本の煙突です。 建設から解体までの38年間、戦前、戦中、そして戦後と、「おばけ煙突」は下町の人々と歩みつづけ、その生活を見続けてきたのです。 暗く苦しい戦時下にもありながらも、夢を持ち続け逞しく生きる東京下町の少年たちの姿を生き生きと描くことによって、彼らの夢と友情をたちきる戦争の悲惨さを浮かび上がらせています。</p>
おばけ大作戦地球SOS シリーズ（1） 地球温暖化編	A-67	27分 カラー	<p>年々暑くなる地球、しかしこの温暖化は実はスーア星人たちのしわざだった。欲望ガスを吸わされた地球人は物をどんどん消費し、二酸化炭素が増えて、地球の温度は急上昇する。このままでは危ない！世界中から集まったおばけ軍団がついに立ち上がった…。温室効果のしくみ、その対策などが楽しみながら理解できる作品。温暖化の進む原因、実情、対策がドラマの中に展開されます。</p>
おばけ大作戦地球SOS シリーズ（2） オゾン層破壊編	A-68	25分 カラー	<p>フロンガスの開発に携わった化学者のうちの1人が、実はスーア星から密かに送り込まれたスーア人であることは誰も知らない。彼はフロンガスの特性を利用し、地球へ紫外線量を増やすことに成功する。オゾン層はどんどん破壊されていき、大勢の人々が皮膚ガンに冒されてしまう。この危機を救うため、おばけ軍団は再び立ち上がった…。 フロンガス、オゾン層、紫外線の関係をCGの絵で説明。その対策も示しています。</p>

おぼけ大作戦地球SOS シリーズ(3) 酸性雨編	A-69	25分 カラー	大勢の子どもたちを乗せた宇宙船が、スーア星人の手によってハイジャックされた。人質を楯にして、宇宙船から地表に人口酸性雨を降らせるスーア星人。たちまち世界の各地に大きな被害が出始めた。地球を愛するおぼけと、アイデア少年の筆先から生まれた生命を得た魔法使いとは、超能力を駆使して人質救出作戦を開始する… 酸性雨がもたらす危機をスリリングに描きます。そのしくみと対策も。
おぼけ大作戦地球SOS シリーズ(4) 大気・水・土の汚染編	A-70	25分 カラー	世界各地に支社を持つ巨大な国際企業グループは、実はスーア星人たちの地球侵略基地だった。この企業グループは、表面では人々の生活を充実させ、楽しませ、便利にする製品やサービスを提供しているが、真の目的は地球の環境を汚染すること。これに気づいたおぼけたちは、環境をよくする製品の開発に励む各国の企業と協力し合い、この謀略に立ち向かう… 大気・水・土の汚染の実態とその対策を示しています。
おぼけ大作戦地球SOS シリーズ(5) 熱帯雨林の減少と砂漠化編	A-71	25分 カラー	地球ではパルプや木材需要を満たすため、木は切られ、焼畑農業によって森は焼かれて貴重な緑が失われつつあった。そこに目をつけたスーア星人は土中の水分を塩水に変える秘密兵器を繰り出す。たちまち砂漠化する大地。白い砂は森や田畑を埋めつくし、大都市にも襲いかかる。家も食物も失われ、さまよい行く人々。はたして地球は…。 水と緑がどれほどありがたいものかを考えさせられる作品です。
お星さまのルール (大阪府内のみ貸し出し)	A-57	80分 カラー	小林千登勢さんの実体験を描いた、同名の児童文学(金の星社刊)をもとに作られました。 物語は、1940年(昭和15)から46年(昭和21)まで、朝鮮半島を舞台に、主人公チコの目を通して、植民地時代から敗戦、そして日本への引揚げの体験を綴ったものです。 この映画は、朝鮮半島での「戦争」を、明るく元気な少女チコの目に映った疑問や悲しみとして描くことで、植民地支配の矛盾と海外での戦争体験を訴えかける作品です。
解放の日まで —在日朝鮮人の足跡— (1~3 全5巻) (大阪府内のみ貸し出し)	D-124	200分 カラー	在日朝鮮人は日本資本主義が必要とする範囲で玄界灘を渡り、日本にきた。その数は、戦争とともに倍に増し、敗戦の時は強制連行者を含めて240万人に達した。在日朝鮮人は、日本資本主義の発展、繁栄にとって不可欠の存在であった。言語、風俗の異なる日本の社会の底辺で差別と偏見にさらされ、あらゆる辛酸をなめつくし、生きる権利、民族と人権を守る闘いを進めてきた在日朝鮮人は、日本ならびに日本人にとって如何なる意味があったのか。 この映画は、在日朝鮮人の現在、過去の歴史に負の暗いイメージを抱きがちな2・3世に勇気を与えるものと確信します。
核戦争	A-22	15分 カラー	“核の恐ろしさ”については、どれほど語っても、語りつくすということはありません。確かに感性に訴えることも、とても大切なことだと思いますが、核問題の本質を科学的、論理的に、子どもたちに伝えることこそが、今、もっとも必要なことだと、考えます。ヒロシマ・ナガサキを身をもって経験された人々が少なくなっていく現在、核の本質を子どもたちに学習してもらうために、アニメーションという手法で、この作品をつくりました。平和の尊さを考える材料としてご利用ください。
核戦争後の地球 第1部 地球炎上 (大阪府内のみ貸し出し)	D-38	30分 カラー	全面核戦争がおこったら、あなたはどうか、そして日本は、地球は…。原子爆弾開発後の膨大な研究と100人を越える科学者の協力を得ると共に、最新の映像技術を駆使して、核戦争勃発後の地球と人類の姿を描いた作品。「地球炎上」では1メガトンの核弾頭が東京に落ちた時、その破壊力によって1,000万人の人たちがどんな体験をするか。

核戦争後の地球 第2部 地球凍結 (大阪府内のみ貸し出し)	D-39	30分 カラー	全面核戦争がおこったら、あなたはどうか、そして日本は、地球は…。原子爆弾開発後の膨大な研究と100人を越える科学者の協力を得ると共に、最新の映像技術を駆使して、核戦争勃発後の地球と人類の姿を描いた作品。「地球凍結」はその後の地球・放射性降下物と地球凍結による恐怖を描きます。迫真の画面が私たちにどうしたらよいか、平和の尊さを強く訴えます。
核・トマホーク —悪魔のミサイル—	D-6	23分 カラー	アメリカが日本周辺の第7艦隊に配備する核巡航ミサイル「トマホーク」とは？この映画は日本を核戦場化する危機を阻止するため、実写、アニメ、模型などを駆使して悪魔の兵器の実態とその恐怖をわかりやすく解いています。ユニークな科学ドキュメントです。
からゆきさん (大阪府内のみ貸し出し)	D-112	75分 カラー	昭和初期から太平洋戦争に至るまで、日本軍がアジア各国への侵略を拡大して行った当時のナショナリズムの犠牲となり、国家に捨てられた一女性の個人史をたどりながら、忘れ去られようとしている日本の歴史の暗部を照射した貴重なドキュメンタリー作品です。
がれきのにほんれっとう 主要都市編 (大阪府内のみ貸し出し)	D-77	70分 カラー	世界の大国は現在もあくことなく、核兵器の開発、実験を繰り返しています。そして今ボタン一つ押せば人類は破滅するとさえいわれ、その脅威は私たちの目の前にあります。この現実をふまえ、戦争が如何に悲惨なものであったか、そしてまた、日本列島を焦土と化した空爆が残忍な恐怖の産物であったかを、映画によって当時を生々しく再現します。
かわいそうなぞう (大阪府内のみ貸し出し)	A-40	17分 カラー	戦争中、動物園の動物たちが殺された実話にもとずき、もの言わぬ動物たちが哀れに死んでいくさまと、彼らを愛した飼育係の悲しみを描き、二度と戦争を起こしてはならないことを訴えます。
かんからさんしん (大阪府内のみ貸し出し)	A-31	78分 カラー	現在、広大な米軍基地をかかえ、実戦さながらの演習が続く現地沖縄から、「再び戦争の悲劇をくりかえしてはならない」という想いがわきあがりました。アニメ映画「かんからさんしん」は、その想いを受けとめ、沖縄県民の全面的な協力を経て完成しました。そして沖縄戦を真正面から描きながら、「いかに死んだか」ではなく、「いかに生きたか」を「かんからさんしん」に託して語りかけます。
カンボジアせんそう Part 1 プノンペン陥落 (大阪府内のみ貸し出し)	D-67	30分 カラー	
カンボジアせんそう Part 2 第3次インドシナ戦争	D-68	45分 カラー	
消えさらぬ傷あと 火の海・大阪①②	A-29	20分 カラー	1945年（昭和20）、無差別の大阪空襲の中、逃げまどう人々。多くの尊い命が奪われました。その中で幸子も焼夷弾の破片によって右腕を切り裂かれました。平和を願う子どもたちに、戦争体験者の声と実話をもとに戦争の恐ろしさをアニメーションで描く、戦争とは、人の命とは、平和の大切さを訴えた作品です。
木を植えた男	A-2	30分 カラー	人が地球上に生命を得て、人類がみな幸せに生きていくには何をすればよいのでしょうか。この映画は、生命の喜びを共に享受できる自然環境を守り、荒野から長年にわたる努力により緑滴る森林をつくりあげた1人の男の物語です。

きけわだつみの声 (大阪府内のみ貸し出し)	D-91	108分 モノクロ	太平洋戦争は開始以来、すでに2年となり、日本の国力はあらゆる面で底をついてきた。まず第一に軍力の低下、特に下級指揮官の不足が目立った。 理科系以外の大学、高専の学生たちは、さきに徴用令によって軍需工場の勤労作業に動員されていたが、この時ついに、学徒出陣の大本命が下った。 時の首相、東条陸軍大将の閲兵をうけた彼らは、ペンを擲って、戦線へ馳せ参じた。そして、どのように闘いどのように死んでいったのか・生き残って終戦を迎えた学徒兵たちの手によって、この「きけわだつみの声」は編纂されたものです。これは主として、彼らが家族、友人らに送った手紙や日記類で、戦記でもなければ報告文でもありません。ただ親しい肉親に、死を目の前にしてそっと心の底をうち明けた、ささやかな、それだけに真率に訴えかけるものがあります。
きけわだつみの声 (大阪府内のみ貸し出し)	D-133	130分 カラー	1943年(昭和18)10月21日、明治神宮外苑での出陣学徒壮行会一、学業半ばにして、これより戦地に向かっていく面々であった。その若さゆえに、思うこと、感じること、そしてなにより未来に託す夢も多いであろう。が、今彼らはそれぞれの心に鍵かけて戦地へと発っていく。学徒出陣した若者たちの遺稿手記集として、戦後最大のロングセラーとなっている「きけわだつみのこえ」を基に作られた、戦後50年記念作品です。
基地と少年	D-7	43分 カラー	沖縄が日本に復帰して1982年(昭和57)で10年になった。しかし、沖縄にとって復帰とは一体何であったか?この10年間に、沖縄の人が見、体験したことは?映画は嘉手納基地近くに住む少年の眼を通じて沖縄の10年と今日を見つめ、さまざまな問題を考えさせます。
君知ってる? 首都炎上 —アニメ東京大空襲—	A-1	18分 カラー	1945年(昭和20)3月10日の東京大空襲は、1夜にして10万人以上の生命を奪ったことを、あなたは知っているでしょうか。かろうじて生き残った3人の体験者が語り、アニメと当時の記録フィルムで再現します。
キムの十字架 (大阪府内のみ貸し出し)	A-47	80分 カラー	長編アニメーション「キムの十字架」(原作・和田 登・ほるぷ出版)は長野県松代大本営を舞台にした物語です。 1910年(明治43)から45年(昭和20)まで日本は朝鮮のすみずみに日本軍と警察を配置し、植民地として支配していました。その間、徴兵・徴用・従軍慰安婦として駆り出された朝鮮人は百数十万人にのぼるといわれています。 第2次世界大戦末期、日本軍は南方にまで戦線を拡大してしまいました。そのため、日本には働き手がなくなり、そこで無理やり朝鮮人を松代に連れてきて、松代大本営工事の重労働に就かせたのです。 この物語の主人公、キム・ジェハとセファン兄弟も日本軍の手で強引に連行され、過酷な労働を強いられ異国の地で暗黒の日々を過ごしました。
教科書裁判 (大阪府内のみ貸し出し)	D-122	40分 カラー	日本は真剣に日本の過去を反省して見なければならぬ。日本の過去に生まれ出たいろいろの矛盾を自覚して、これを排除する決意を固くし、日本の過去の発展の筋道を把握して、いよいよその推進に努力する覚悟を新たにすべきであり、そのためにまず日本史の正確な理解が要求される。(家永三郎著『検定不合格日本史』より)
くらしの中の不安 合成洗剤	D-31	20分 カラー	合成洗剤は魚の呼吸を不能にし、体内に入って肝臓を冒す。リンに代わったゼオライトの安全性・合成洗剤による健康被害、妊娠に与える影響などを科学的に追求し、これらの被害者であると同時に加害者でもあることの愚かさを、すべての消費者に訴えます。

黒い雨 今村昌平監督作品 (大阪府内のみ貸し出し)	D-90	123分 カラー	従来の戦争をテーマにした映画とは一線を画します。民衆の目を通し、そして彼ら自身の生活から醸し出されるユーモアと哀歎を交えて今村昌平が描く「黒い雨」は、生きることの意味を切々と問いかけます。ベストワンの呼び声も高い文芸大作です。
クロがいた夏 (大阪府内のみ貸し出し)	A-53	70分 カラー	広島、長崎に原爆が落とされて半世紀あまり。「三度許すまじ原爆を」の願いにもかかわらず、核兵器は存在しています。「はだしのゲン」で知られる中沢啓治さんが、被爆当時飼っていた子猫との体験をもとにしています。「クロがいた夏」は、戦争という時代のなかで子猫の生命を守るために、力をあわせる子どもたちと家族、その生命を一瞬にして奪い去った「ゲンバク」を対比させ、生命の重さと「三度許すまじ原爆を」と呼び掛けます。 戦争を知らない親たち、そして先生たちが子どもたちと「戦争」や「ゲンバク」のことを語りあうきっかけになることを願っての企画です。
原爆の子 (大阪府内のみ貸し出し)	D-118	96分 モノクロ	世界で最初に原爆の洗礼をうけた広島の子どもたちが綴った切々と胸をうつ作文「原爆の子」よりヒントを得、新藤兼人が脚色、演出した長編劇映画です。この映画は、真に平和を願う芸術家ばかりで製作し、資本家の介入を一切さけるという、わが国最初の自主作品です。
原爆の子 平和公園の碑は うたっている (大阪府内のみ貸し出し)	A-35	60分 カラー	戦争も原爆も知らない現代の少年少女に、太平洋戦争の末に広島で起きた悲劇を伝え、そこで亡くなった人々の願いを受け継いで、いま生きている私たちが、なにをしなくてはならないかを訴える実写とアニメーションで贈る、平和と人権を守る問題作品です。
原爆ドーム物語	A-9	15分 カラー	<原爆ドーム>の誕生から現在にいたるまでの物語形式により、原爆被害の惨状を織りこみながら、ドームが見つめてきた戦争と平和を描いています。また、平和を考えるための具体的なアプローチとなるアニメーション映画でもあります。
合成洗剤と水質汚濁	D-29	23分 カラー	自然浄化のメカニズム、水の富栄養化と水質汚濁の関係、合成洗剤とリンの功罪等を描きながら、リンは下水処理によっても処理出来ないことを示し、更に三島市下水道部の調査から合成洗剤それ自体が下水処理能力を低下させるという厳しい現実を訴えます。
合成洗剤は安全か	D-28	20分 カラー	毎日使っている合成洗剤が安全かどうかは非常に大きな問題です。そういう疑問を中心に石鹼と合成洗剤の違いなどの基礎的知識から、合成洗剤の持つ色々な問題点を実証的に解明しながら、子孫のために私たちはどうしたらよいかを考えます。
国際連合のはたらき	D-127	40分 カラー	今日、地球上には国際紛争、内戦、環境問題、難民問題と数々の問題が存在しています。これらの問題解決に大きな役割を果たすのが国際連合です。私たちは国連の活動を通して、国連に関心を持ち、国連によってよりよい未来を築くべく、私たち一人ひとりが国際社会に積極的に参加することが望まれています。
古代からの歴史にみる 日本列島と朝鮮半島	D-32	31分 カラー	日本は古代から、文化・政治・技術等の発展に朝鮮半島の強い影響を受けてきました。秀吉の侵略、明治以降の植民地化という不幸な出来事はありませんでしたが、友好の歴史は長い。その歴史を顧みながら、基本的な人権が尊重される国際社会を築き上げる必要性を訴えます。

古代の日本と朝鮮半島 —天之日矛伝承—	D-69	31分 カラー	古代の昔から日本は朝鮮半島からの渡来人に強い影響を受けて発展しました。古事記や日本書紀、風土記などに登場する新羅の王子、天之日矛に焦点を当て、日本各地に残る伝承を検証しながら、彼らがどういう集団で、どのような影響を与えたかを考えます。
子どもたちの昭和史 第1部「大東亜戦争」 (大阪府内のみ貸し出し)	D-41	53分 モノクロ	平和教育を推進する東京都教組が日本電波ニュースと共同で製作、NHKなどに保存されている戦時中のニュース・記録フィルムと、戦時中を少年としてすごした人びとの証言とにより、子どもたちにとっての「大東亜戦争」を問い、考えさせます。
第2部「15年戦争と教師たち」 (大阪府内のみ貸し出し)	D-42	40分 モノクロ	平和教育を推進する東京都教組が日本電波ニュースと共同で製作、NHKなどに保存されている戦時中のニュース・記録フィルムと、戦時中を少年としてすごした人びとの証言とにより、子どもたちにとっての「大東亜戦争」を問い、考えさせます。
第3部「教室から消えた恩師たち」 (大阪府内のみ貸し出し)	D-43	40分 モノクロ	平和教育を推進する東京都教組が日本電波ニュースと共同で製作、NHKなどに保存されている戦時中のニュース・記録フィルムと、戦時中を少年としてすごした人びとの証言とにより、子どもたちにとっての「大東亜戦争」を問い、考えさせます。
第4部「焼け跡に青空をみた」 (大阪府内のみ貸し出し)	D-44	39分 モノクロ	平和教育を推進する東京都教組が日本電波ニュースと共同で製作、NHKなどに保存されている戦時中のニュース・記録フィルムと、戦時中を少年としてすごした人びとの証言とにより、子どもたちにとっての「大東亜戦争」を問い、考えさせます。
第5部「学校」 (大阪府内のみ貸し出し)	D-45	43分 モノクロ	平和教育を推進する東京都教組が日本電波ニュースと共同で製作、NHKなどに保存されている戦時中のニュース・記録フィルムと、戦時中を少年としてすごした人びとの証言とにより、子どもたちにとっての「大東亜戦争」を問い、考えさせます。
ゴミの大逆襲 —ゴミが地球をダメにする— (大阪府内のみ貸し出し)	D-136	20分 カラー	大量生産・大量消費によって発展してきた経済大国日本。ビルが乱立し、緑はなくなり、スモッグに覆われ果てしなく広がりを続ける大都会。その中で、ごく普通の生活を送っている男が、奇妙なゴミの夢を見るようになる。便利さを求め、使い捨てが当たり前になっている今、本当の豊かさとは何かを考えようではありませんか。
最後の空襲くまがや	A-50	29分 カラー	1945年（昭和20）8月14日夜、第2次世界大戦最後の空襲を終戦前夜に受けた熊谷市の惨劇を、当時の記録や体験者の話・手記を忠実に参照して描いた短篇アニメーションです。
魚が空をとんだよ	A-86	25分 カラー	木を切り倒し、海と大地を汚す人間。それを知りつつ、その事に手をこまねく人間。しかし、そんな救いのない人間の営みに、灯をつけた人たちがいます。「山に木を植えた」母さんたちがいます。アニメーションを通して、子どもたちの心に、ささやかな木を植えましょう。
さくら隊散る (大阪府内のみ貸し出し)	D-132	112分 カラー	桜隊は、第二次大戦下、新劇人達で組織された移動演劇隊の一つで、広島移動演劇隊中国支部を拠点とし、山陰・山陽地方を巡演するのが任務でした。7月下旬から中旬にかけ山陰地方の巡演を終えて広島に帰り、昭和20年8月6日、爆心地近くで原爆の洗礼をうけ9人が非業の死を遂げました。広島出身の新藤兼人が、江津萩枝著「桜隊全滅」に感動し、これを基に構成・演出する長編ドキュメントです。

さようならカバくん	A-26	25分 カラー	戦争さえなかったら、カバさんは生きていられたのだ。当時の少年がアニメを通じて現代の少年少女に訴えます。1943年（昭和18）、上野動物園で多くの猛獣が殺されましたが、その難をのがれた2頭のカバさんも同じ運命をたどることになったのです。
サヨナラはお乳の匂い （大阪府内のみ貸し出し）	A-81	50分 カラー	この映画は、原爆によってささやかな日常と幸せをこわされた母と子の姿を、原作者である主人公・荒木正夫の目を通して、静かにうたえていきます。地獄のような惨状にありながら、母は子を守ろうとし、子は母を救おうとします。哀しいほどに美しい母と子の絆…。そこには主人公・正夫が感じたように、本当の戦争の悲劇がこめられています。
サラムという名の隣人	D-100	38分 カラー	教職をめざす在日3世の女子大生の目を通して、在日コリアンがなぜ日本で暮らすようになったのか、そして現在日本で暮らしている人たちの就職差別、住宅入居差別、結婚の問題など、さまざまな問題を考えていきます。「サラム」朝鮮語で人間のことをいいます。在日韓国・朝鮮人は、サラムという名の隣人です。
シー・キャット （大阪府内のみ貸し出し）	A-18	20分 カラー	時は春。生まれおちるとすぐに、川に流されて捨てられたネコの子と、子をなくしたばかりのラッコの母親が出会い、ネコの子はラッコの子として育てられます。 と、一見突拍子もない話を通じて、生とし生けるものの貴さ、そして愛らしく、健気ないきもちたちの生活を根こそぎ破壊してしまう恐ろしい出来事のありうることをわかってほしいのです。 そんな願いから愛とユーモア、そして詩情あふれる中に、反核・平和への願いを託してつくられました。
死の鉄路 ～残されたものたち～ （大阪府内のみ貸し出し）	D-80	45分 カラー	泰緬連接鉄道の開通後48年目、鉄道工事で働かされ、長く沈黙を守り続けてきた老人たちが、はじめて閉ざされた歴史の扉を開く証言をしました。映画「戦場にかける橋」で有名なクワイ河鉄橋の橋脚に、労働者が埋められているとの証言です。老人たちとスタッフは、工事での犠牲者の調査を開始しました。 作品は、2年3月に及ぶ老人たちとの交流や証言、そして調査の記録をまとめたものです。
十六地蔵物語	A-54	27分 カラー	戦後の1年前の1944年（昭和19）9月、大阪市の南恩加島国民学校の3、4年生が徳島県貞光町に集団疎開をしました。国内各地に空襲が始まり、国は将来の兵士を確保するためといって、国民学校（小学校）3年から6年生の子どもたちを疎開させることを、国の政策としたからです。学童疎開に行き、犠牲となった子どもたちの姿を通して、戦争の悲惨さについて考えるアニメ作品です。
焦土大阪 —38年後の大阪— （大阪府内のみ貸し出し）	D-79	46分 カラー	1944年（昭和19）12月から終戦の前日まで、大阪には50数回の空襲があり街は焦土と化しました。 この映画は、終戦の翌年の4月から5月にかけてアメリカ軍が撮影したもので、戦後38年を経た街の繁栄ぶりと対比しながら、平和の尊さをかみしめていただくため、ピースおおさかが作製したものです。
シャックリのぼうげん	A-87	24分 カラー	舟橋靖子の楽しい昆虫の世界を、かわ「いキャラクターで映像化。いもむしのシャックリが、森の仲間の昆虫たちにまもられて、サナギからアゲハチョウに変身する過程を描いています。昆虫と自然の世界、幼児から大人まで、みんなが楽しめるファンタジーワールドです。
少年の日の思い出 （大阪府内のみ貸し出し）	D-128	55分 カラー	第二次世界大戦末期、ユーゴスラビアのある田舎町の小学校に一人の帰還兵士が教師として着任した。彼は体面やしきたりにこだわらず、自然にふるまい、子ども心に深い感銘を与えつつ、勇気と希望をもって元気に先へ行こうという生き方の大切さを教えていきます。

白い町ヒロシマで (大阪府内のみ貸し出し)	D-82	105分 カラー	この映画は、学童疎開中に広島原爆で母と姉、弟を失った主婦・木村靖子の原作「白い町ヒロシマ」(金の星社刊)を映画化したものです。 主人公柏木靖子の家庭が、戦争と原爆によって壊されていく過程を描くことによって、平和の尊さを訴えるとともに、平和を愛し、豊かな心を育てる教育者になろうと決意する教師像をも描きます。
白旗の少女 琉子 (大阪府内のみ貸し出し)	A-75	61分 カラー	「沖縄記録フィルム1フィート運動の会」が入手したアメリカ軍のフィルムの中に、白旗をかかげ、手をふりながら投降する少女がありました。 その姿は印象的で感動を呼び大きな話題となり、1985年(昭和60)「りゅう子の白い旗ー沖縄いくさものがたり」(文・新川明、版画・儀間比呂志)という素晴らしい絵本が出版されました。 映画はこの絵本を素材に、アメリカ軍の沖縄空襲(1944・10・10)から沖縄本島上陸(1945・4・1)日本軍の潰滅(6・20)、そして投降(6・25)にいたる少女の生きざまと、戦場で出会った鉄血勤皇隊の少年兵との交流を通して、平和の尊さ、人間が生きることの大切さと喜びを描きます。
侵略 第一部 中国侵略編 (大阪府内のみ貸し出し)	D-76	60分 モノクロ	15年戦争。1931年(昭和6)から、「満州」・盧溝橋事件・南京大虐殺・三光作戦・朝鮮・シンガポール・インドシナ・東南アジア・パール・ハーバー攻撃。日本軍国主義者は侵略し、多くの人たちを虐殺して行きました。 アメリカのワシントン国立公文書館に保存されていた幻の貴重な記録フィルムです。
侵略・マレー半島 教えられなかった戦争	D-89	110分 カラー	太平洋戦争で日本軍がどんなことをやったのか。私たちは知らなかったさまざまな事実に出会いました。 なぜ、こんな残虐なことができたのか。 日本の兵隊はどのようにしてつくられたのか。そして、今回の作品の主要テーマである、戦争はなぜ起きたのか、戦争を必要としているのは一体誰なのか、を追求しました。 戦争前、イギリスの植民地だったマレーシア。 現在、最大の資本投下国は日本。新たな戦争の危険は…。
森林のサイエンスシリーズ (No. 1) 森林と地球	D-138	29分 カラー	人間は、森林で育ち、森林の恩恵を受け、そこに独自の文化を築いてきました。そして、森林の破壊が、その文明の衰退につながっていることは、歴史が教えています。森林と地球環境の関係、森林に住んでいる生物たちの関係を中心にまとめられています。
森林のサイエンスシリーズ (No. 2) 森林と生態	D-139	30分 カラー	森林のさまざまな営みは、地球環境にとって重要な役割を果たしています。とりわけ、私たち人間と深い関わりをもっています。日本の森林の生い立ちや移り変わり、そしてメカニズムをわかりやすく説き明かします。
森林と私たち	D-26	20分 カラー	色々大切な役割を果たしている森林資源を保護育成している人々の努力や工夫を描き、自然環境を保全するには、我々はどうのようなことに気をつけたらよいかを訴えます。
世界人権宣言	A-12	21分 カラー	人が生きていく上で最低限、保障されるべき権利30カ条を、子どもたちから大人まで、みんなにわかりやすいアニメーションにしました。 声の出演・・・アグネスチャン・谷川俊太郎・ほか

世界の子らへ ～広島の人々は今～	D-8	50分 カラー	作品は、日本で最初の全組織が統一された初めての原水爆禁止世界大会から始まります。その年、劇的な試合で広島カープの優勝に湧く広島市民からは、35年前の「死の街」の傷跡など殆ど見られません。直接体験者はだんだん高齢化し、被爆2世3世の時代に移っていますが、現存する原爆の語り部たちは、戦後生まれの子供たちに自分たちの体験を証言しています。「戦争というものがなぜ起こるか、起こったらどうなるか、それだけは、ようわかる人間になってくれ」と広島弁で訴えるのです。
世界の友へ —朝鮮人被爆者 金在甲氏の記録—	D-125	50分 カラー	原爆被爆40周年の85年に、原爆の被爆においても「加害者」であった日本人を告発する作品として、朝鮮人被爆者の記録映画第2作として作られました。この作品は、強制連行、原爆被爆をのりこえ、敗戦後の日本の中で、朝鮮を生きる人間の記録です。
世界の人へ ～朝鮮人被爆者の記録～	D-9	47分 カラー	「なんでここに来て、こんな目に会わなきゃいけないのか…、軍国主義、日本人がしたんです…。この体を返せ、この体を」と鋭く訴える朝鮮人被爆者。「とにかく生きていこう。生きたら必ずこの原爆の悲惨なものを語り続け、2度とこのような悲惨な立場は残すまい」と静かに語る朝鮮人被爆者。決して流暢な日本語で語っているわけではありませんが、その重い言葉と、顔に刻まれたしわと、原爆で受けた傷跡が、その辛苦の歴史を雄弁に語っています。
世界は恐怖する	D-10	80分 モノクロ	「生きていてよかった」の亀井文夫監督が相次ぐ核実験への怒りをこめ、放射能のおそろしさを科学的なデータと実験状況によって明らかにして、全世界に警告する長編記録映画です。
迫り来る核の脅威	D-12	27分 カラー	核兵器競争は今日の世界が直面する最大の脅威です。核兵器競争の歴史と現状、これを抑止するための絶えざる国際的努力を追いながら、核兵器の恐ろしさを訴え、核軍縮こそ平和で豊かな世界をもたらすと指摘します。
戦後50年の歩み (小学校高学年用) (大阪府内のみ貸し出し)	D-115	20分 カラー	終戦時の混乱から、復興、そして高度成長への発展の道を歩んできた日本…。この半世紀の歩みを政治・経済・社会など様々な分野にわたって回顧し、その意義を探ると共に、いま日本が直面している問題、これから進むべき道について考えさせようとするものです。
戦場の女たち (大阪府内のみ貸し出し)	D-111	55分 カラー	この映画は第2次大戦で、最南端の日本軍激戦地となった「パプア・ニューギニア戦線」の女たちの記録です。戦場の中で最も犠牲を強いられたパプア・ニューギニアの女たち、そして侵略した日本軍の背後にも「従軍慰安婦」という虐げられた日本やアジアの女たちがいました。—これは女たちの手による“戦場の女たち”の物語です。
せんすい艦に恋をした クジラの話	A-27	15分 カラー	クジラのデカオが死地に向かう日本海軍の小型潜水艦に一目ぼれしてしまった…。野坂昭如著「戦争童話集」の中の一編をアニメ化した作品で、1頭のクジラの運命を一転させた戦争の愚かさ、残酷さ、愛の大切さを訴えます。
せんせい (大阪府内のみ貸し出し)	D-103	103分 カラー	1945年(昭和20)8月9日、原爆投下の翌日長崎市に入り被爆し、「急性骨髄性白血病」により32歳の若さでこの世を去った、元長崎市立山里小学校教諭山口竹子さんをモデルとして、子ども達とのふれあい、彼女の死を通して平和の大切さを描いたものです。
戦争 —子どもたちの遺言—	D-48	53分 カラー	戦争の最大の犠牲者はいつも子どもたちだった。死んでいった子どもたちの声が、叫び声が聞こえないだろうか？広島・長崎の、東京の、そしてアウシュビッツの子どもたちのあの声。

せんそうをしないで ください	D-13	29分 カラー	「せんそうをしないでください」は山形県教組が小・中・高校生に戦争体験を伝える平和教育運動から生まれた子どもたちの作文集の題名です。その作文集の著者から10名の子どもたちが、平和使節団として沖縄を訪れたときの感動的なドキュメントです。
戦争と青春 (大阪府内のみ貸し出し)	D-98	105分 カラー	現代の1人の女子高生が夏休みの課題で、家族の空襲7巻を聞くことで戦争の悲惨さ、生命の尊さを学んでいくという物語です。
戦争は世界でどう語り つがれているか	D-57	30分 カラー	第2次世界大戦から半世紀、戦争はいま世界でどう語り継がれているのでしょうか。 世界の平和ミュージアムをいくつか訪ねてみました。
戦争は日本でどう語り つがれているか	D-58	20分 カラー	戦争体験の風化が進むなか、戦争はいま、日本でどう語り継がれているのでしょうか。 沖縄・広島・長崎を訪ねてみました。
「宗谷物語」 樺太犬ゴン太 ・母をさがせ	A-62	25分 カラー	少年の父は戦死、幼い時に母と別れ樺太犬ゴン太だけが母を知っている。少年はゴン太をつれ北海道にいる母をたずねて引き揚げ船に乗り込んだ。
象のいない動物園 (大阪府内のみ貸し出し)	A-46	81分 カラー	このお話は、小学校2年の教科書にも出てくる「かわいそうなゾウ」という、ほんとうにあったエピソードをもとにしています。日本がアメリカと戦争していた1943年(昭和18)、動物園の動物たちは危険だと次々に殺されました。この物語はそのときの話と、戦争が終わりこの事件を知った子どもたちが、ゾウを見たいと呼びかけ、それを実現するまでの話です。
ぞう列車がやってきた (大阪府内のみ貸し出し)	A-77	80分 カラー	戦争中、たくさんの動物が殺されました。20頭いた象も殺され、残ったのは名古屋の東山動物園にいる2頭だけでした。戦後、2頭の象マカニーとエルドに会いたいという子どもたちの熱い願いが大人たちを動かし、東京をはじめ全国から「ぞう列車」に乗って子どもたちが東山動物園にやってきました。
増大する放射能 —中性子爆弾—	D-11	9分 カラー	牛、馬、犬、兎などの動物を使った模擬実験フィルムを通し、中性子爆弾の恐ろしさを訴えかけます。
大気汚染と健康	D-33	20分 カラー	健康な社会生活を営むには清浄な大気が望ましいが、現実はどうか。映画は大気が極度に汚染されている現状を直視し、その生体への影響、健康被害の実際を描き出し、大気汚染と健康への認識を深めてもらい、汚染防止への努力を強く訴えます。
タイコンデロンガの いる海	A-10	25分 カラー	1965年(昭和40)12月5日午後2時50分。 沖縄の近海を、ベトナム沖から横須賀にむけて、米空母「タイコンデロンガ」が航海していた。そして、広島型の約80倍の威力をもつB43型水爆を搭載していたA4Eスカイホーク攻撃機が、操縦士もろとも海中に沈んだ。 沖縄沖水爆水没事故の事件は、24年間公表されませんでした。非核3原則が守られていなかった事実はどうなるのでしょうか？ 公表される核に関する海洋事故も多く、海が危機的な状況をむかえています。“きれいな海をとりもどしたい”その願いをこめて。
太平洋戦争と沖縄 (大阪府内のみ貸し出し)	D-104	35分 カラー	太平洋戦争下で、唯一日本での地上戦が展開された沖縄。そこでは、国体護持の名のもとに、多くの住民をも巻き込んだ数々の悲劇が生み出された。この3カ月にわたる地獄の戦場の歴史的背景と、`実の姿を証言及び資料映像で綴る迫真のドキュメントです。

太平洋戦争と東南アジア	D-88	29分 カラー	1941年（昭和16）12月8日、真珠湾攻撃の2時間前に日本軍はマレー半島に上陸していた…。日本はなぜ東南アジアを侵略したのか。虐殺事件で生き残った中国人や元日本軍兵士の証言、アメリカ側の記録フィルム等を通して太平洋戦争の真の姿を考える平和教育教材です。
第五福竜丸 （大阪府内のみ貸し出し）	D-130	115分 モノクロ	1954年（昭和29）3月、焼津港を出た漁船第五福竜丸は、魚を求めてビキニ環礁のあたりにいた。乗組員は23人。3月1日の午前3時42分、乗組員たちは夜明け前の暗闇の中に白黄色の火柱が天に向かってたのぼるのを見た。6・7分後大爆音があたりをゆるがせ響いた。それはビキニ環礁で行われた水爆実験であった。
第三の兵士 ヒロシマから世界へ （大阪府内のみ貸し出し）	D-114	26分 カラー	スイス人医師マルセル・ジュノー博士は、広島原爆被災の状況を聞くや直ちに占領軍司令部へ行き、ヒロシマ救援を強く要請。1945年（昭和20）9月、調達した大量の医薬品と共に廃虚の市街に入り惨禍の実情を調査、自らも被爆市民の治療にあたりました。この映画は、スイス人医師がヒロシマ救済に赴いた足跡をたどります。
第二次世界大戦の余波	D-34	25分 モノクロ	すべて当時の貴重な実写フィルムによって編集されたもので、第2次世界大戦終結直後から約2年間の世界状況と、その動静を、米ソが冷たい戦争に突入していく前奏曲を中心に、三部に分けて描いたものです。
太郎と花子 がれきのにほんれっとう のたび…。	A-83	50分 カラー	戦後50周年記念作品として、世界唯一の最も貴重な当時のがれきの日本列島の主要都市のカラーフィルムを多くの子どもたちに分かりやすくアニメ・キャラクターをガイド役に使用しています。親と子が一緒に見ながら、平和の大切さを継承してください。
太郎と花子 ちゅうごくのたび…	A-32	67分 カラー	太郎と花子と一緒に中国のたたかひの歴史の旅を、親と子が一緒に観ながら平和の大切さを継承して行く作品です。
小さな証言者たち	D-50	20分 カラー	映画は、第2次世界大戦の終わった1946年（昭和21）、ポーランド教育省がナチスの残虐の歴史を記録に残そうと全国の小学生に呼びかけ、集められた6,000点の絵と数百点の作文をもとに製作された記録映画です。
ちいちゃんのかげおくり	A-41	17分 カラー	空襲のさ中、家族とはぐれてしまった少女が、やがて死んでいく自分の姿を通して、戦争のもたらす悲惨さを訴えます。原作・あまんきみこの童話のアニメーションです。
地球が危ない	A-39	15分 カラー	空が汚れ、海が汚れています。地球的規模で進行する環境汚染・環境破壊は、すでに私たちの想像を絶するほどのレベルになっています。 このアニメでは、環境危機のさまざまな実態をわかりやすく解説し、地球環境を守ることの大切さを教えます。そして地球に生きる人間として、地球を救うために、今、私たちがしなければならないことはなにかを訴えます。
地球が危ない	A-65	15分 カラー	空が汚れ、海が汚れています。地球的規模で進行する環境汚染・環境破壊は、すでに私たちの想像を絶するほどのレベルになっています。 このアニメでは、環境危機のさまざまな実態をわかりやすく解説し、地球環境を守ることの大切さを教えます。そして地球に生きる人間として、地球を救うために、今、私たちがしなければならないことはなにかを訴えます。

地球号SOS	A-66	20分 カラー	中学生の政夫は、姉に誘われるまま、山のペンションに遊びにやってきた。そこで環境を守る技術を学びに来ている若い留学生たちと知り合い、地球が抱えている様々な環境問題について教えられます。子供達を対象に、地球規模の環境問題に目を向けさせ、かけがえのない地球を守るために一人一人が考え、行動を起こす時がきていることに気づかせるアニメ作品です。
地球と環境	D-37	20分 カラー	近年、地球規模の環境問題が、いやおうなしに世界中の耳目を集めるようになってきました。映画では、熱帯林の破壊・地球の温暖化・酸性雨・オゾン層の破壊・海洋汚染などの問題を取りあげ、これらの多くが、実は私たちの身近な生活と密接に結びついていることに気づかせます。
地球と環境 1 地球の温暖化 ・オゾン層の破壊	D-84	30分 カラー	温暖化の仕組みや将来予測、国際的な取り組みなどについて考えます。また、フロンなどの物質によるオゾン層の破壊を食い止める手段を考えます。
地球と環境 2 熱帯林の減少 ・酸性雨	D-85	30分 カラー	ヨーロッパや北米では、工場や自動車が吐き出す窒素酸化物などにより森林や湖、歴史的な建造物が被害を受けています。その実態解明と被害状況を伝えます。
地球と環境 3 海洋汚染 ・都市生活型公害	D-86	30分 カラー	人類共通の海を救うために、どのような国際的取り決めがなされてきたのか。また、過密化にともなうゴミ処理、交通渋滞、騒音の問題などを考えます。
地球は友達だ ～外国人とのつきあい方～	A-64	15分 カラー	言葉がわからなくても、友だちになれる。＜豊かな国＞ニッポンで、働き、学ぼうと、世界の国から多くの人々が集まってくる。でも、かれら外国人とニッポンのあいだには何かが一目にみえない何かが、たちはだかっている。私たちの国はかれらをどう迎え、かれらとどのようにつきあえばいいのでしょうか。
朝鮮戦争 第1部 アメリカの侵略 第2部 38度線の攻防戦 第3部 板門店 (大阪府内のみ貸し出し)	D-59	42分 41分 40分 カラー	映画は、朝鮮民主主義人民共和国の製作した、映画「祖国の自由と解放のために」とワシントン国立公文書館に保存されていた幻の貴重なフィルム等の一部を使用し、創作した映画です。
朝鮮半島 植民地支配の実態	D-93	28分 カラー	日本の朝鮮植民地支配は、強制連行などの労働力の収奪のみならず、創氏改名などにより、民族の誇りさえも奪った。数々の証言をもとに、その歴史的事実の検証と共に、在日韓国、朝鮮人への偏見と差別の根源にせまります。
中国大陸侵略 太平洋戦争への道 (大阪府内のみ貸し出し)	D-129	30分 カラー	世界大恐慌、それに付随して日本も大不況へ。そこで軍部は、資源の豊富な中国大陸への進出に打開策を見出そうとする。泥沼化する日中戦争、高まる軍国主義や社会不安、そして日本の国際的孤立化。なぜ、日本は太平洋戦争に突入して行ったのか、ニュースフィルムや現存する中国の風景Aそして歴史の証言者たちのインタビュー等でその答えを追います。
対馬丸 一さようなら沖縄ー (大阪府内のみ貸し出し)	A-30	75分 カラー	1944年(昭和19)8月22日夜、沖縄から九州へ向かう学童疎開船「対馬丸」が米潜水艦に雷撃され、乗船した学童800余名のうち生存したのは59名にすぎなかった。この悲劇を訴える大城立裕の原作(理論社刊)を長編アニメーション化した感動の一作です。
つるにのって とも子の冒険	A-43	30分 カラー	未来の大人たちに、核兵器や放射能の恐ろしさと、平和づくりへ自ら参加することの大切さを訴えたものです。
天に焼かれる 一絵による証言ー (大阪府内のみ貸し出し)	A-20	17分 カラー	もう忘れてしまったのでしょうか? 「2度とくりかえしません」と誓った運命の日から半世紀あまり。原爆の恐ろしさ、残酷さを全世界の人が知ったはずなのに…。この作品は、被爆直後の惨状を描いた評判の平和紙芝居をアニメ「はだしのゲン」の監督の平田敏夫が最新アニメ技術を駆使して感動的な作品に仕上げました。

東京・ヒロシマ子ども派遣団～1986年～	D-96	31分 カラー	映画は東京の先生と父母、地域の子供たちとで広島へ旅行した記録映画です。子供たちは広島で原爆の体験談を聞き、被害の爪跡を見て、「平和の大切さ」に気づいていきます。
トビウオのぼうやは びょうきです	A-3	19分 カラー	いぬいとみこの童話（金の星社刊）を虫プロ、サン・ルックなどの協力を得て低年齢向けの短編アニメーションとして映画化、幼い子どもたちにもわかりやすく、興味深い映像で、1954年（昭和29）3月1日のビキニにおける米水爆実験の悲劇を訴えます。
とべとべひよこ	A-59	21分 カラー	幸子は迷い込んだにわとりを飼っていたが、ある雨の日に突然死んでしまう。悲しみに泣く幸子に、隣家の画家のおじさんが戦争中にもっと可哀相な殺され方をしたにわとりの話をし、慰める。幸子は元気づけられ平和の大切さを告げに新学期の学校へ急ぐ。
とべないホテル	A-48	18分 カラー	羽がちぢんで生まれたために、とべないホテルがいました。彼を励まし、助ける仲間のホテルたち。足の不自由な妹のために、ホテル取りにやってきた姉と弟。ホテルと子供たちとのふれあいを通して、やさしさと、思いやりの大切さを描いています。
とらじの詩	D-75	55分 カラー	在日韓国・朝鮮人が日本の社会の中で、本名を使って生きていくことがどんなに困難なことか、このことがどんなに民族の誇りを傷つけているか、また、なぜ、韓国・朝鮮人が日本で生活しなければならなくなったかを理解することは、民族差別の問題だけでなく、日本における人権問題を考えるうえで、非常に大切なことです。 この映画は、本名で生きようとする在日韓国人の就職をテーマに、彼のまわりの在日韓国、朝鮮人と、日本人の心を描いています。
トンボがかたる自然環境	D-27	26分 カラー	種類によって住む場所を異にするトンボは自然環境の変化・良否を知る重要な指標です。さまざまなトンボの姿、かつてはどこでも見られた自然の姿・日本の原風景・を通して、河川・湖沼・森林のあるべきかたちを考えます。
長崎からの告発 第19回原水爆禁止世界 大会成功をめざしてー	D-14	20分 モノクロ	磯村みどりがたずねた被爆地長崎の怒りです。
ながさきの子うま	A-4	27分 カラー	広島に続いて、1945年（昭和20）8月9日、長崎に再び、原子爆弾が投下されました。犠牲になったのは人間だけでなく、命ある生き物はすべて被害をこうむりました。その中に馬の親子もいた…。大川悦生原作、同名著書をもとに描いた人形アニメです。
ナチ絶滅収容列島 絶滅強制収容所編 （大阪府内のみ貸し出し）	D-60	40分 モノクロ	日本初公開の人類史上最悪なナチスSSの虐待・拷問・虐殺の貴重なドキュメント・フィルムです。
ナチ絶滅収容列島 夜と霧編 （大阪府内のみ貸し出し）	D-61	32分 カラー	世界の名作。巨匠アラン・レネエ監督作品、ジャン・ヴィゴ賞、カンヌ優秀映画賞、等受賞の作品です。
なっちゃんの 赤いてぶくる	A-16	18分 カラー	1945年（昭和20）8月6日、広島。なっちゃんは原爆の光に焼かれ影になった。なっちゃんは長い歳月をかけ、少女のまま、一児の母になった親友としちゃんと再会します…。明るいアニメを通して戦争や原爆の悲惨さを訴え、親子で平和の尊さを考えてもらいます。

夏服の少女たち ヒロシマ・ 昭和20年8月6日	A-14	30分 カラー	1945年（昭和20）に広島県立第1高女に入学した1年生は物資不足のため制服がなかった。そこで彼女たちは母親のお古などで夏の制服を縫い始めたのだが、やっと出来た喜びも束の間、8月6日を迎える…。原爆の悲劇を描いた感動のドラマです。
日韓併合への道	D-94	30分 カラー	明治維新は、日本にとって近代化への歩みであると同時に、アジア侵略の道程でもあった。江華島事件から、3・1万歳運動までの、朝鮮半島での歴史的事実を、長期韓国ロケーションで描く、迫真のドキュメントです。
日清・日露戦争 ー帝国主義への道ー	D-101	26分 カラー	西欧列強は武力を背景にアジアへ進出。それに対抗すべく、日本は富国強兵政策を進め、朝鮮確保の機会をうかがっていた。そして…日清・日露戦争に勝利、不平等条約を改正、国際的地位を高めて行く。その様子を貴重な映像資料で描きます。
日本国憲法	A-21	15分 カラー	どうして今、平和なの？憲法の大切さをぜひ、子供たちに伝えたい！主権在民、平和主義、基本的人権（憲法の3大特色）。この日本国憲法を以前の明治憲法と比較しながら、そのしくみを親しみやすくアニメーションで描き、心で憲法を考えます。
にんげんをかえせ (大阪府内のみ貸し出し)	D-40	20分 カラー	10フィート映画運動三部作のうち第一作です。広島・長崎に投下された原爆キノコ雲、原爆投下後、米国戦略爆撃調査団が撮影した広島・長崎市街地のようす、被爆者の姿など当時の惨状を再現。原爆の恐ろしさ、悲惨さを具体的に表現しています。
猫は生きている (大阪府内のみ貸し出し)	A-52	75分 カラー	「猫は生きている」・不思議な題名だなあ、とおもうかもしれませんが。なによりも強い絆で結ばれた母と子をおそった大空襲の悪夢と、人間の親子<昌男くん一家>と、昌男くんの家の床下に住むのら猫<稲妻>の一家のつらく苦しい体験を描いて、あの戦争も、この戦争も、戦争という戦争をみんななくしたいという願いをこめています。
残された名刺 ～ある在日一世の軌跡～	A-89	30分 カラー	すりきれた一枚の名刺。そのかげに、こんな波乱の物語がかくれているとは…。高校二年生の平尾貴志は、祖父が死の床で古びた名刺を握りしめて「電話を、電話を」と言い残したことから、名刺を頼りにやっと、朝鮮人の名刺の人物を探しあてた。しかし、彼は「話すことはない」となかなか会ってくれない。在日一世の苦難の道。その背景に日本と朝鮮の歴史が重なります。
ノーモア・ヒロシマ	D-15	20分 カラー	被爆30年の広島を訪れた女優磯村みどりさんが、被爆者たちの証言を聞き、いまなお苦しむ人々と対話するなかで、「核兵器をなくせ、被爆者の援護を」という切実な広島の願いを改めて、痛感させられる構成を持つ短編記録映画です。
はだしのゲン (大阪府内のみ貸し出し)	A-33	85分 カラー	太平洋戦争末期からその後にいる広島市を背景に、ゲンが様々な困難や苦しみにめげず、持ち前のバイタリティーで生き抜く姿を感動的に描いた作品です。
はだしのゲン2 (大阪府内のみ貸し出し)	A-34	90分 カラー	「はだしのゲン」の続編。小学校4年生に成長したゲンを中心に原爆孤児たちが、廃墟の広島で明るく生きていく姿を描いています。それぞれが悲しみと苦しみをのりこえて、健気に生き抜いていく姿が観る人の心をゆさぶります。

はだしのゲン (大阪府内のみ貸し出し)	D-73	107分 カラー	太平洋戦争も終わりに近づく1945年(昭和20)4月頃から、8月6日の原爆投下、そしてさらに敗戦に至る広島市を背景に、映画は、少年“ゲン”がさまざまな困難や苦しみにめげず、持ち前のバイタリティで生き抜いてゆくさまを、ときには笑い、ときには熱い涙をまじえて感動的に描いています。
はだしのゲン 涙の爆発 (大阪府内のみ貸し出し)	D-74	123分 カラー	終戦直後の広島市を中心に、わんぱく少年ゲンと原爆孤児たちのバイタリティあふれる生きざまを第1部以上におかしく、また感動的に描いています。そして、差別を生み出す被爆の残酷さを告発しています。
はだしのゲン PART 3 ヒロシマのたたかい (大阪府内のみ貸し出し)	D-92	128分 カラー	第1部・2部に引き続いて、戦後編、「はだしのゲン、第3部、ヒロシマのたたかい」。 目に見えない戦争の危機を感じる今日、戦争を知らない世代に戦争体験をした人達だけが知らせうその実態をどう伝えるか！子供を持つ親も戦争を知らないという現状の中で…。 ワンパク少年ゲンのバイタリティあふれる力強い生き方を前作以上におもしろく感動的に描いています。
8月9日長崎	A-5	10分 カラー	赤レンガの威容を誇った浦上天主堂の場面から始まります。そのきれいなステンドグラスが映し出され、被爆前の長崎の静かなたたずまいが紹介されます。やがて上空にB29「ボックスカー」の機影が爆音とともに現われる。8月9日午前11時2分…。 原爆投下、キノコ雲、倒壊した家屋の下敷きになった女の子を必死で助け出す母、全身焼けただれた市民…。
八月の暑い空 (大阪府内のみ貸し出し)	D-141	52分 モノクロ	米軍機B29の爆撃で焼土と化しつつあった日本の惨状を、自らを犠牲にして救おうと神風特攻隊に志願していった青年達の苦悩と慟哭を描いたもので、「人間が人間としていきることとは何か…」を問いかけます。
パパママバイバイ (大阪府内のみ貸し出し)	A-60	70分 カラー	1977年(昭和52)、9月27日に、横浜市で実際に起きた米軍機墜落事故をお話にした、早乙女勝元原作「パパ ママ バイバイ」を同名映画化したものです。 ユ一君とヤス君の幼い兄弟の命を奪った突然の事故。2人と大の仲良しだったかおりという女の子の純粋な目を通して、真の平和とは一、命の大切さとは一、を優しく問いかけています。
ピカドン	A-6	10分 カラー	約10分の短編アニメーションです。ナレーションやことばは一言もなく、音楽と擬音で構成されています。10分間というわずかな時間の中で、ストレートに原爆の非人間性、残虐性及び平和の尊さを考えるきっかけとすることができます。そのうえ、幼児には幼児なりの語り聞かせや事後の話しあいによって、小・中学生ではこの映画を導入教材として使い、さらに発展した指導をすることができます。
ビキニの海は忘れない (大阪府内のみ貸し出し)	D-23	62分 カラー	土佐の美しい自然の中で、足下から“平和と青春”を見つめようと、さわやかに生きる高校生たちの姿を描きます。
一つの花	A-36	23分 カラー	小学校4年生の国語科教科書に載っている今西祐行原作のアニメ化です。1944年(昭和19)夏、日本は太平洋戦争で食物も不足していた。おなかをすかしてオニギリをねだる幼い我が子に、父はコスモスの花を一つ手渡して出征して行く…。平和の尊さを訴えます。
火の雨がふる (大阪府内のみ貸し出し)	A-85	80分 カラー	「火の雨がふったら、どんなかさをさしたらいいの？」 太平洋戦争も終わりに近づいた1945年(昭和20)、日本の主要都市のほとんどは焦土と化しました。この映画は、福岡空襲を記録する会の福岡空襲体験の証言集「火の雨が降った」を基につくられたもので、700年余り続いてきた代表的な祭り“博多祇園山笠”が空襲によって途絶えた体験を重ね、あらためて平和の尊さを訴えています。

日の丸と君が代 (大阪府内のみ貸し出し)	D-123	32分 カラー	「教え子をふたたび戦場に送るな」は、戦後の民主教育を支えた教師たちの合言葉でした。それは「日の丸」と「君が代」で子どもたちを侵略戦争に加担させた教師たちの深い自責と反省から生まれます。けれども、今日「日の丸」と「君が代」はふたたび教育の場に持ち込まれています。わたしたちは、同じ轍を踏もうとしているのではないのでしょうか。(スタッフからのメッセージ)
ひめゆりの塔 (大阪府内のみ貸し出し)	D-83	126分 モノクロ	太平洋戦争の敗戦が色濃くなった1945年(昭和20)の早春、沖縄の女学生が、陸軍病院へ特志看護婦として動員され、米軍の総攻撃を受けて次々と傷つき、遂には悲惨な最期へと追いつめられて行った実録を基に、水木洋子が出来る限りの資料を集めて脚本にしたものです。
100ばんめのサル	A-17	17分 カラー	宇宙の中で一番美しい星、それは、宝石のように光り輝く私たちの住む地球なのです。しかし、地球はいま、核爆弾がいつばいなのです。この恐ろしい核爆弾がもし戦争につかわれたら、一瞬にして死の世界と変るのです。私たちのちっちゃな力でも地球を救うことが出来るという事を、「100ばんめのサル」が教えてくれるお話です。100ばんめのサル、いや100ばんめの人間…人人人が…世界平和のために、大きく輪を広げていくのです。
びょういんの木 (大阪府内のみ貸し出し)	D-140	54分 カラー	大気汚染による公害で一級に認定されている重症のゼンソクの子もオサムは、ゼンソクを自己管理できるよう大阪赤十字病院に長期入院し、院内学級に通うことになった。辛い治療の合間にいつも話しかけていた「木の精」から、命の尊さや戦争の悲惨さなどさまざまな事を学ぶ。
ビルマの豎琴 (大阪府内のみ貸し出し)	A-80	43分 カラー	太平洋戦争末期、ビルマ戦線を敗走する日本軍の中に、合唱が得意な部隊がありました。この部隊は歌のおかげでたびたび危機を脱したが、終戦となり捕虜収容所に入れられました。しかし、豎琴の名人だった水島上等兵だけは、敗戦を知らず、いつになっても帰って来ませんでした。
ひろしくんは空がすき	A-88	13分 カラー	裸ん坊の少年と真っ白なネコという、子どもたちが親しみやすい可愛いキャラクターを通して、自然の大切さを教えてくれます。セリフなしのアニメーションで、豊かな表現力と叙情的な音楽により、言葉の壁を越えて人々に感動をあたえます。
ヒロシマ原爆の記録	D-49	30分 パート カラー	宇野重吉のたんたんたる語りとともに、原爆被災直後の広島の様状、被爆者の目をおおう傷、すさまじい爆風と熱線を示す破壊、そしていまでも残る放射能の残酷な影響などが、つぎつぎと展開します。
ヒロシマ・ナガサキ ～核戦争のもたらすもの～	D-46	46分 カラー	核戦争の危険性が高まる中で、ヨーロッパ・アメリカ・日本においても一般の人々の中に核廃絶の叫びが高まりつつあります。核の恐ろしさを体験した日本の役割は、ますます大きなものとなってきました。作品は、広島・長崎における凄惨な被害を、人類が再びひき起こさないよう、警告の意味をもって両市が共同企画しもので、正しく原爆被害の実態を伝えるために科学的に解説されています。
広島・長崎1945年8月	D-16	18分 モノクロ	「1945年(昭和20)8月6日午前8時15分17秒、広島に原爆が投下された。パイロットたちは眼下の庭に咲く花までみえた…私は憶えている。いつも、いっしょだった友だち、彼女の姿は見えない。まわりはまっ暗。火のように赤い…」と語るナレーションとともに、広島と長崎の被爆直後に撮影された焼野原、悲惨な被爆者の実情がつぎつぎと展開され、広島・長崎の真実を映像で訴えます。

ヒロシマに 一番電車が走った	A-55	30分 カラー	原爆投下のわずか3日後、広島市の街に路面電車が走り出した。戦争へ行った男達に代わり車掌を務めるあどけない少女たちの1945年（昭和20）・あの夏の記録をアニメーションでドラマ化しました。そんな時代があったことを子どもたちに知ってもらえるものです。
ヒロシマ -母たちの祈り-	D-24	30分 カラー	原爆災害が個人だけの苦しみでないと、目覚めた広島の被爆者の平和運動への歩みを描きます。
ひろしまのエノキ (大阪府内のみ貸し出し)	A-23	24分 カラー	物語の中心は、広島市の旧陸軍病院あとにそびえる老エノキです。爆心から北へ1キロの所にあるエノキは、原爆の熱風と爆風で幹をえぐられるなど、大きな傷を受けながらも青々とした葉をしげらせていました。ところが1984年（昭和59）8月、おりからの台風で根元から3メートルをのこして折れてしまいました。これを見た広島市の基町小学校の子どもたちは、「エノキを死なせてなるものか」と、水をやったり雑草をとったり懸命に努力しました。そのかいがあつてエノキは10数本の新しい芽をふきはじめました。被爆したエノキを守り続ける子どもたち。平和と命の尊さを描く感動のアニメーションです。
ヒロシマの詩	A-7	11分 カラー	兵隊からかえってきた男が、ヒロシマの焼土で赤ん坊の泣き声を聞き、助けます。そして通りがかりの夫婦にその子の世話を頼みました。その子、ヒロ子が17歳になった年の8月6日、男は17年ぶりにヒロ子に再会し、口ごもりつつ、8月6日の出来事を語りました。 「君のお母さんは…」 彼女はそのショックを乗り越えて力強く生きていく…心に残る感動のアニメーション映画です。
冬のリトルボーイ (大阪府内のみ貸し出し)	D-131	90分 カラー	広島市郊外の小学校。原爆をうけた幼い子どもたちは、今では親となり、その子どもたち（被爆二世）も元気に通学している。 この映画は、戦争体験のない子どもたちが主人公で、心のくずれをもった子どもたちが集団づくり、仲間づくりを通して、平和の尊さと命の大切さを学んでいきます。
ふるさとのどうぶつえん	A-8	24分 カラー	「かわいそうなぞう」の物語によって、戦争末期に象をはじめ猛獣を殺された事実は、東京上野動物園だけの悲しい事件のように受けとめられてきました。 しかし、日本各地の動物園にも象はいたし猛獣も飼われていました。彼等の運命はどうなったのでしょうか。大阪の象、ライオン、ヒョウなど、10種類26頭が餓え死にし、毒殺などの方法で殺されました。この映画は、大阪天王寺動物園の現代の平和な様子を見せつつ、戦争の傷あとをふりかえっていきます。
ふるさとのどうぶつえん	A-61	24分 カラー	「かわいそうなぞう」の物語によって、戦争末期に象をはじめ猛獣を殺された事実は、東京上野動物園だけの悲しい事件のように受けとめられてきました。 しかし、日本各地の動物園にも象はいたし猛獣も飼われていました。彼等の運命はどうなったのでしょうか。大阪の象、ライオン、ヒョウなど、10種類26頭が餓え死にし、毒殺などの方法で殺されました。この映画は、大阪天王寺動物園の現代の平和な様子を見せつつ、戦争の傷あとをふりかえっていきます。
平和のために働く -国際連合の働き-	D-36	20分 モノクロ	ニューヨークの国際連合本部の内部を通常見学コースに沿って案内し、その間国連ヨーロッパ本部やそれ以外の国連事務局機構にも触れつつ、世界的規模の下に活動している国際連合の働きを紹介します。
HELLFIRE : 劫火 -ヒロシマからの旅-	D-135	58分 カラー	日本の代表的画家、丸木位里・丸木俊夫妻は、広島で原爆直後の“生き地獄”を目撃しました。この映画は、魅力的なインタビューと心にしみる美しい映像によって丸木夫妻の画業をたどり、夫妻の芸術と生きざまを紹介し、さらに未来への理想を探ったものです。

ベトナムせんそう Part 1 8月15日 (大阪府内のみ貸し出し)	D-62	46分 カラー	世界で最も貴重なフィルムが“歴史の真実”をあなたに映像で伝えます。
ベトナムせんそう Part 2 ディエン・ビエン・フーの陥落 (大阪府内のみ貸し出し)	D-63	37分 カラー	世界で最も貴重なフィルムが“歴史の真実”をあなたに映像で伝えます。
ベトナムせんそう Part 3 激動の1960 (大阪府内のみ貸し出し)	D-64	34分 カラー	世界で最も貴重なフィルムが“歴史の真実”をあなたに映像で伝えます。
ベトナムせんそう Part 4 テト攻勢 (大阪府内のみ貸し出し)	D-65	36分 カラー	世界で最も貴重なフィルムが“歴史の真実”をあなたに映像で伝えます。
ベトナムせんそうPart 5 サイゴン陥落 (大阪府内のみ貸し出し)	D-66	50分 カラー	世界で最も貴重なフィルムが“歴史の真実”をあなたに映像で伝えます。
ボクちゃんの戦場 (大阪府内のみ貸し出し)	D-72	105分 カラー	戦争とは何か!! 戦争というものは、自分たちの身の上にとんなことをもたらしてくるのだろうか。 戦時中の学童疎開という状況下でのいじめの中で、自己変革をしていく主人公源君の姿から、いじめの本質や、それに立ちむかっていくすばらしさ、自立していくことへの感動。それを、現代の自分たちの周囲にうずまく、いわば現代のいじめとダブらせて、きっと子供たちは、真正面からいじめの問題について考えを進めていくでしょう。
ぼくのいる街	D-17	23分 カラー	太平洋戦争末期の1945年(昭和20)1月の空襲で死んだひとりの少年が、現在の繁栄する銀座に現われ、かつての自分の家、遊んだ場所、自分の死んだ場所、母親が空襲で死んだ場所をさまよい歩きます。
ぼくは孫悟空 手塚治虫物語 (大阪府内のみ貸し出し)	A-82	70分 カラー	手塚治虫は、100本以上のアニメーションと15万枚の漫画を遺しました。「ぼくは孫悟空」は手塚治虫原案による最後の作品です。この映画は2部構成になっていて、前半は子ども時代から戦争中、そして戦争の時代を描きつつ、漫画に夢中になっている日々をとらえ、後半は西暦3010年の銀河系サファイヤ星を舞台にしたSFタッチの孫悟空となって自由自在に宇宙空間を動きまわります。
火垂るの墓 (大阪府内のみ貸し出し)	A-63	88分 カラー	1945年(昭和20)の神戸空襲で、母親を失って、2人きりになってしまった兄妹。一度は親戚の家に世話になりますがなじめず、二人は横穴で生活を始めます。楽しくスタートした2人の生活でしたが。
ポッポちゃんクリチャン ーヒロシマ ・ナガサキのたびー	A-56	59分	世界で唯一の最も貴重な当時のヒロシマ・ナガサキの瓦礫のカラーEフィルムを、多くの子供たちに解りやすく、アニメ・キャラクターをガイド役に使用しました。(両市の名所を地図入りで修学旅行の参考にと)親と子が一緒に観ながら、平和の大切さを継承していくものです。
まっ黒なおべんとう (大阪府内のみ貸し出し)	A-76	49分 カラー	広島、長崎の悲劇は、被爆して死んでいった人々、傷ついた人々、遺された家族、その後生まれた家族、それぞれの形で存在しています。 「まっ黒なおべんとう」のお話もその一つです。あの時、なん千なん百の「おべんとう」のお話があったはずですが。その一つがこのお話です。この「おべんとう」は現実に存在します。この「おべんとう」の母性愛の強さを物語るエピソードは、私たちの胸をゆさぶる激しいインパクトを秘めています。 折免滋君は、1945年(昭和20)8月6日建物疎開の作業中、広島で被爆しました。この作業に従事していた同級生、広島第2中学の1年生全員も被爆死、その氏名は広島市の平和公園にたつ慰霊碑に刻まれています。

マヤの一生 (大阪府内のみ貸し出し)	A-38	25分 カラー	太平洋戦争の最中、食糧事情の悪化にともない殺された犬・マヤの物語。戦争の悲惨さ、恐ろしさを子どもたちに語りつぐものです。
みいちゃんのでのひら	A-37	22分 カラー	1945年(昭和20)3月9日の東京大空襲によって、生き延びながら、心には癒しがたい深い傷を負った、森下の叔父さんとお手伝いさんのみいちゃんの心の葛藤や感情のもつれを、当時12歳だった姪のきくちゃんが現在の時点から語り伝えるお話です。 戦争は加害者であろうと被害者であろうと人々の心に大きな傷痕を残すものです。 そのことをみいちゃんのかかされた、あたたかかった手のぬくもりと、戦争で傷ついた手を通して語っています。
みいちゃんのでのひら	A-74	22分 カラー	1945年(昭和20)3月9日の東京大空襲によって、生き延びながら、心には癒しがたい深い傷を負った、森下の叔父さんとお手伝いさんのみいちゃんの心の葛藤や感情のもつれを、当時12歳だった姪のきくちゃんが現在の時点から語り伝えるお話です。 戦争は加害者であろうと被害者であろうと人々の心に大きな傷痕を残すものです。 そのことをみいちゃんのかかされた、あたたかかった手のぬくもりと、戦争で傷ついた手を通して語っています。
南のおともだちのために	D-126	16分 カラー	世界の未来は、先進国の人たちが第三世界の人たちにどれだけ責任を持てるかにかかっています。物のあり余る日本で育てているこの園児たちが、第三世界の子どもたちの痛みを理解するとき、園児たちに「愛」が育ち、地球に「希望」が育つからです。
もし、この地球を愛する なら	D-47	26分 カラー	医学者の反核運動を進めるヘレン・カルディコット博士の講演を中軸に、貴重なフィルムを織りまぜ、反核への行動を呼びかけるユニークなドキュメントです。米アカデミー記録映画賞、ライブチヒ映画祭特別賞などを受賞しています。
約 束 ーアフリカ 水と緑ー	A-13	16分 カラー	時間を経てなお生き続ける少年たちの友情を縦軸に、また広大な砂漠に緑を広げようとするロマンを横軸に、技術が受け継がれていく国際協力の姿を描いたアニメーション映画です。西アフリカでの地下水開発と緑化計画の二つの技術協力のプロジェクトを素材に、特に小・中学生にストーリーを楽しみながら国際協力について考えてもらうことを意図しました。
ユネスコのおはなし (大阪府内のみ貸し出し)	A-25	11分 カラー	人類、国境、その他の「壁」にさえぎられて相互理解と平和を欠くのは不幸なことです。壁をとりのぞき、教育、文化すべての面で協力し平和のうちに向上していこうとするユネスコ精神を動画でえがいています。
ユネスコのはたらき	D-35	16分 モノクロ	映画は、特にユネスコのはたらきに焦点をあわせ、世界中が平和で、すべての人々が文化の恩恵に浴し、ゆたかな生活を享受できるようにはたらくユネスコの機能が具体的に理解できるように作られています。
予 言 (大阪府内のみ貸し出し)	D-18	42分 カラー	10フィート映画運動三部作の第二作です。 米国国立公文書館から購入した、戦略爆撃調査団の8万5,000フィートのフィルムその他、ネバダの原爆実験、核兵器の威力テストの記録フィルムに、原爆症に苦しむ被爆者の現状を交錯させて構成しています。
歴史 ー核狂乱の時代ー	D-19	116分 カラー	10フィート映画運動総集編。原爆製造マンハッタン計画を紹介しつつ、第2次世界大戦からベトナム戦争を経て、今日のMX、パーシングII、SS20の配備の実態をめぐり、同時に日・米・南太平洋の被爆者の苦しみ、怒り、そして行動を描きだします。

わたしたちと原発	A-11	20分 カラー	「原発って何？なぜ日本にはたくさんの原発があるの？」子どもたちにそうたずねられた時、あなたはキチンと答えられますか？「豊かな」暮らしに欠かせない「電気」と、処理の困難な「死の灰」を同時に生み出す原発の現状を、アニメーションで簡潔に表します。
私たちの暮らしと 環境汚染	D-87	31分 カラー	地球規模で広がる環境破壊と汚染問題がクローズアップされているが、その原因のほとんどが我々の日常生活の中から発生しています。こうした環境の危機を直視し、環境破壊や汚染をくいとめるために、私たちはどうしなければならないかを考えます。
私たちの戦後50年 (大阪府内のみ貸し出し)	D-116	40分 カラー	戦後50年——この半世紀を人々が苦しみを乗り越え、どのように生き、暮らしてきたのか、貴重な記録映像を駆使しながら50年間の変容を回顧し、これからの生き方、日本の将来についても考えます。
渡り川 (大阪府内のみ貸し出し)	D-120	90分 カラー	「日本最後の清流」といわれる四万十川。その中流域にある西土佐村の鉄道（旧）江川崎線、大正町にある戦時中四国随一の津賀ダムなど、多くの朝鮮人によって築かれたことを高知県幡多高校生は知る。映画は、1992年（平成3）3月から20ヶ月の年月の中で、土を耕す父母、戦争体験を語る祖父母、家族の営みなどを通じて、幡多高校生たちが成長する姿を描いています。